

独立行政法人日本学生支援機構の創立について



北原 保雄
(独立行政法人日本学生支援機構理事長)

平成十六年四月一日、新たに、独立行政法人日本学生支援機構が発足しました。

本機構は、日本育英会の奨学金貸与事業、日本国際教育協会・内外学生センター・国際学友会・関西国際学友会の各公益法人の留学生関連交流事業、並びに国が実施してきた留学生に対する奨学金の給付事業や学生関連調査などの事業を整理、統合し、日本人学生と外国人留学生の双方に対する支援業務を総合的に実施する機関として設立されたものです。

社会的にも経済的にもグローバル化が進展し知的創造性が社会発展を支える重要な基盤となりつつある今日、時代の変化に柔軟に対応できる創造性豊かな人材の育成が強く求められており、このため、学生の課題探求能力を涵養し、国際理解を推進するとともに、意欲と能力のある学生に対する修学環境を整えることが今後ますます重要な課題となっております。

本機構は、このような理念・目的を達成するために、大学等並びに学生に対する支援業務をリードし、サポートする中核機関として、国民・社会の期待に十分応えられるよう、努力してまいります。

本機構の主な業務は、①日本人学生・外国人留学生に対する奨学金事業、②大学等の学生支援担当教職員のスキルアップを目的としたメンタルヘルスや学生相談等の研修、③大学等における学生支援の充実するための修学・進路選択・心身の健康等に関する情報・資料のデータベースの構築や地域における学生支援のネットワークの構築、④学生支援事業の基礎資料となる学生生活調査や留学生の在籍調査、⑤障害のある学生への修学支援など、きわめて幅広い分野にわたっています。これらの業務を通じて日本人学生と外国人留学生に対して総合的な支援を行うこととしております。

その一環として、これまで文部科学省が刊行していました「大学と学生」の発行業務も本機構に業務移管されました。今後は情報収集の業務も踏まえ、学生支援に係る情報発信など、より一層充実させていきたいと考えております。

日本学生支援機構の目指す活動理念の実現に向けて、若者の可能性を信じ、その健やかな成長を支援してまいります。皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。